

全日本学生バドミントン連盟会員各位

日頃から全日本学生バドミントン連盟の活動にご理解とご協力をいただきまして感謝申し上げます。

さて、運営本部（競技部）から提案（2024.6.6.付）のありました「東西インカレ組み合わせ基準変更：個人戦」について、Web 総会（メール審議）を開催して審議しました結果、定足数および表決数ともに規定数を満たし、全員「賛成」との結論に達しました。

したがって、**令和 6 年度から「東西インカレ組み合わせ基準：個人戦」を「シード枠を 32 枠から 64 枠」と変更して、組み合わせ基準内規を運営本部総務部において改正いたします。**

今年度（令和 6 年度）東西インカレ開催の主管学連（北海道学連・中四国学連）および来年度以降開催の主管学連におかれましては、変更点にご留意いただき準備を進めていただきますようお願いいたします。また、各地区学連では会員の皆さんへの周知をお願いいたします。

2024.6.15.

全日本学生バドミントン連盟

会長 北見正伸

東日本・西日本学生バドミントン選手権大会 組み合わせ基準

令和 6 年 7 月 22 日
全日本学生バドミントン連盟

東日本・西日本学生バドミントン選手権大会は、現行の公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規定第 5 章第 28 条~32 条を適用し、シードは団体戦・個人戦それぞれ次の通りとする。

【団体戦の組み合わせ基準】

1. 次の①~③により、1~16 までシードする。

①前年度本大会のランキング 2 位以内をランキングによりシードする。

②前年度本大会のランキング 4 位以内、8 位以内をそれぞれ抽選によりシードする。ただし、昨年度と同じ対戦は避けるものとする（4 シードと 8 シードの当たりもチェックする）。

※①・②でシードされていない、今年度各地区連盟主催大会の 1 位がある場合は、抽選により第 9~12 にシードする。（関西学連案） →これは③で解決できる。

③参加する地区学生連盟の出場校の内直近の地区大会上位校を抽選により上位から 16 までシードする。

2. 以降自動抽選

★③については、参加校数の割合で各地区の抽選対象校数を算出し、それを基に抽選により各地区上位からシードする。

例：参加校数：関東 34、東北 4、北海道 10 校の場合、抽選対象校数比率

「5：1：2」を基に抽選により各地区上位からシードする。

→抽選対象校数（関東 5 校・東北 1 校・北海道 2 校；計 8 校の倍数）

★1 回戦は、昨年度と同一対戦は避ける。

★ブロック内での各地区バランスを考慮する。特に参加校数が少ない地区のバランスを優先的に考慮する。

【個人戦の組合せ基準】

○各地区学連は自地区選手において全日本学生バドミントン連盟の日本学生ランキングを作成する。

1. 次の①により、1～64までシードする。

①全日本学生バドミントン連盟の日本学生ランキングにより1～64までシードにあてはめていく。同ポイントの場合は抽選によりシードを決める。

※日本学生ランキングでシードが埋まらない場合は、以降自動抽選となります。

2. 以降自動抽選

※原則抽選後は変更しない。

※ポイントランキング制によるシード以外の選手については、所属バランスとダブルスパートナーの分離については、ソフト上で配慮されています。

【組合せ会議までの準備】

- ・全日本学生バドミントン連盟の日本学生ランキング表を作成する。
- ・抽選する物を準備する。

表. 日本学生ランキング配点表

100%（前回大会）						
	優勝	準優勝	ベスト 4	ベスト 8	ベスト 16	ベスト 32
全国選抜	150	100	50	20		
インターハイ	200	150	100	50		
地区選手権	100	80	60	40	20	
東西インカレ	300	250	200	150	100	50
インカレ	600	500	400	300	200	100
全日本総合	1000	800	600	300	100	
ランキングサーキット	700	500	300	100	50	

80%（前々回大会）						
	優勝	準優勝	ベスト 4	ベスト 8	ベスト 16	ベスト 32
全国選抜	120	80	40	16		
インターハイ	160	120	80	40		
地区選手権	80	64	48	32	16	
東西インカレ	240	200	160	120	80	40
インカレ	480	400	320	240	160	80
全日本総合	800	640	480	240	80	
ランキングサーキット	560	400	240	80	40	

※地区選手権大会、東西インカレ、インカレにおいて日本代表活動で不参加の場合は、日本学生ランキング相応の点数は配点する。

※全国選抜とインターハイは得点が高い方を採用する。

※団体戦の組合せ基準は、令和 7 年度に下記内容に変更予定です。

【団体戦の組み合わせ基準】

○各地区学連は、地区における大学ランキングを提出する。

1.次の 1 により、1～16 までシードする。

①前回本大会の成績を基に、地区学連から提出された大学ランキング上位を順にあてはめていく。

・第 1 シード

前回本大会で優勝した地区の大学ランキング上位 1 校

・第 2 シード

前回本大会で準優勝した地区の大学ランキング上位 1 校

・第 3～4 シード

前回本大会ベスト 4 に入った地区の大学ランキング上位 2 校を抽選

・第 5～8 シード

前回本大会ベスト 8 に入った地区の大学ランキング上位 4 校を抽選

・第 9～16 シード

前回本大会ベスト 8 に入った地区の大学ランキング上位 8 校を抽選

2.以降自動抽選

※原則抽選後は変更しない。

東日本・西日本学生バドミントン選手権大会

組み合わせ基準内規改正

改正趣旨：

フリーエントリーで各地区有力選手が多く参加できる東西インカレでは32シードでの組み合わせでは、多くの問題が発生する可能性がある。インカレ出場はベスト32のためインカレ決めで有力選手が戦うようにシードを64までにしたい。

旧
【個人戦の組合せ基準】 1. 次の①により、1～32、までシードとする。 ① 全日本学生バドミントン連盟の日本学生ランキングにより 1～32 までシードにあてはめていく。同ポイントの場合は抽選によりシードを決める。
新
【個人戦の組合せ基準】 1. 次の①により、1～64、までシードとする。 ① 全日本学生バドミントン連盟の日本学生ランキングにより 1～64 までシードにあてはめていく。同ポイントの場合は抽選によりシードを決める。